

スポット情報紙

郡山市農業センター大玉トマト栽培結果

1 「高温に比較的強い大玉トマト」

トマトの夏越し栽培では、高温により花芽の減少や流れ等高温障害の発生が多いことから、5品種について、無加温ビニールハウスを利用した品種比較試験を行いました。

規格品収量が高い「りんか409」、「みそら64」を有望品種と判断しました。

品種名	種苗会社	全収量 (t/10a)	規格品収量 (t/10a)	規格品割合 (%)	1果平均重 (g)	糖度 (°Brix)
りんか409	サカタのタネ	15.4	13.0	84.4	194	5.8
麗夏	サカタのタネ	12.3	11.0	89.3	187	4.8
みそら64	みかど協和	14.2	12.9	90.9	186	5.1
桃太郎セレクト	タキイ種苗	13.1	11.3	86.2	193	5.5
パルト	サカタのタネ	12.3	10.6	85.5	168	6.4

2 「ホルモン処理がいない大玉トマト」

トマトトーン等での着果促進を必要としない「パルト」が昨年から販売されました。収量はやや少ないですが、食味が良く省力的であることから有望品種と判断しました。

長所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トマトトーン処理等が必要なく、また、短節間でする下げ等の管理作業が省力的。</li> <li>・果実糖度が高く食味良好。</li> </ul>
短所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・過繁茂になりやすく、蒸れや薬剤の散布むら等による病虫害発生に注意が必要。</li> <li>・生育が遅く収量が2割程度低い。果実が小玉傾向で、尻がややとがりやすい。</li> </ul>

3 「大玉トマトの施肥量」

窒素施肥量は、下記のように基肥9.6kg、追肥9kgの合計18.6kgの施肥で適正な樹勢を保ち、収量は15t/10aとなりました。肥料が多くても収量は上がりません。

農業センター 10aあたり施肥量  (施肥前：残肥料ほぼ無 EC0.25)	肥料名	施用量(kg)	成分(kg)		
			N	P	K
	堆肥	1400			
	BMようりん	80		16.0	
	スーパーMMB有機	40	4.0	4.8	4.0
	エコロング413	40	5.6	4.4	5.2
	トミーブラック(追肥)	90	9.0	3.6	5.4
	計		18.6	28.8	14.6

\* 農業センターでは、今年もトマトの実証栽培を予定しています。

問合せ先 郡山市農業センター 電話957-2880